



## 平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年3月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成28年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第2四半期の業績（平成27年9月1日～平成28年2月29日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	9,170	1.5	236	△5.8	219	△5.3	85	△24.4
27年8月期第2四半期	9,031	△2.3	251	△28.5	231	△30.8	113	△32.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	33.80	32.94
27年8月期第2四半期	44.80	44.06

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	9,670	2,247	22.8
27年8月期	9,268	2,200	23.3

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 2,206百万円 27年8月期 2,164百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年8月期の業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	1.3	250	18.6	218	27.4	60	11.8	23.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期2Q	2,532,400株	27年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	－株	27年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期2Q	2,532,400株	27年8月期2Q	2,531,193株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、原油安の進行や中国経済の減速懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。個人消費については、生活必需品の価格上昇等もあり、いまだ本格的回復を実感するには至っておりません。

このような状況下、当社は、不振店対策、オリジナルブランド商品ハッピーキャンドルのブランド強化、EC（ネット通販）の本格稼働、販売費及び一般管理費の管理強化を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。

販売活動の施策といたしましては、3店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや改装・移転店舗における閉店セール等の販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

ECにつきましては、チャネル戦略として9月にAmazon店、10月に楽天市場店、12月にLINE店をオープンいたしました。また、メールマガジンの配信及び広告宣伝を強化し、Webサイトの精度と商品力の向上に努めました。

商品施策といたしましては、客数増加に向けた取り組みとして、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化を図ってまいりました。また、ハッピーキャンドル商品については、秋冬の新作商品を投入するとともに、雑誌掲載による広告宣伝とノベルティ販促等による販売強化を行いました。また、ハッピーキャンドルブランドサイトをリリースしブランドの強化に努めてまいりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、好調なプロモーション商品やダマシングストーンの展開を強化したことで売上高1,584,211千円（前第2四半期累計期間比2.8%増）、時計は国産ブランド時計の販売が好調だったものの、海外ブランド時計を中心に高額商品の需要が落ち込んだことで売上高2,350,262千円（同0.7%減）、バッグ・小物は手ごろな価格帯の商品やメンズブランド商品の展開を強化したことで売上高5,235,596千円（同2.2%増）となりました。

店舗展開といたしましては、広島祇園店（広島県）、磐田店（静岡県）、新三郷店（埼玉県）の計3店舗を新規出店いたしました。磐田店及び新三郷店は、既存の大型商業施設ららぽーとへの出店であります。一方、不振店対策として富津店（千葉県）の閉店を実施したほか、桶川店（埼玉県）・鷲宮店（埼玉県）の3月閉店を決定いたしました。これらにより、当第2四半期末の店舗数は67店舗となりました。

店舗改装につきましては、前期より着工いたしました千葉ニュータウン店、盛岡店、筑紫野店が9月に改装オープンいたしました。また、和歌山店及びつくば店について好立地の区画への移転改装を実施したほか、和泉店、茨木店、東松山店、むさし村山店の通常改装を実施いたしました。これら新規の出店と改装については、既存什器設備の活用等により出店・改装費用の抑制に努めました。

さらに、韓国の子会社（非連結）が運営する韓国D-CUBE店について、賃貸借契約期間満了（平成28年5月）をもって閉店することを決定いたしました。

これら業績改善へ向けた不振店舗の移転や退店処理を重点課題として取り組んだことで一時的な損失処理が発生し、特別損失として、店舗の改装・閉店にともなう固定資産廃棄損10,608千円、減損損失15,095千円、店舗閉鎖損失4,716千円及び韓国子会社に対する投資損失引当金繰入額13,453千円を計上いたしました。

この結果、売上高は前年同期を上回るものの、四半期純利益においては前年同期を下回る結果となりました。ただし、下期及び来期以降においては、これらの積極的処理策が収支改善に結びつくものと考えております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,170,070千円（前第2四半期累計期間比1.5%増）、営業利益236,347千円（同5.8%減）、経常利益219,251千円（同5.3%減）、四半期純利益85,617千円（同24.4%減）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### （流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,703,462千円となり、前事業年度末と比較して312,440千円増加しております。これは主として、現金及び預金が194,385千円、売掛金が98,911千円減少したものの、商品が635,937千円増加したことが要因であります。

#### （固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,966,930千円となり、前事業年度末と比較して89,948千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が56,699千円、工具、器具及び備品が27,155千円、敷金及び保証金が18,443千円増加したことが要因であります。

#### （流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,726,791千円となり、前事業年度末と比較して516,437千円増加しております。これは主として、店舗改装や3月商戦に向けた資金調達や商品確保により支払手形及び買掛金が163,586千円、電子記録債務が81,901千円、1年内返済予定の長期借入金が108,758千円増加したことが要因であります。

#### （固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,695,990千円となり、前事業年度末と比較して160,870千円減少しております。これは主として、返済により長期借入金が201,412千円減少したことが要因であります。

#### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,247,611千円となり、前事業年度末と比較して46,821千円増加しております。これは主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が47,631千円増加したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ194,390千円減少し、2,259,549千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は110,950千円（前年同四半期は467,277千円の収入）となりました。これは、主として新規出店等に伴うたな卸資産の増加636,158千円、利息の支払額19,845千円、未払消費税等の減少15,331千円、法人税等の支払額9,253千円があった一方で、税引前四半期純利益175,377千円、仕入債務の増加245,487千円、減価償却費135,904千円、売上債権の減少104,737千円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は69,311千円（前年同四半期は54,112千円の支出）となりました。これは、主として新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得36,628千円、敷金及び保証金の差入22,266千円の支出があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は236,029千円（前年同四半期は215,259千円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入800,000千円があった一方で、長期借入金の返済892,654千円、長期未払金の返済87,110千円、配当金の支払37,933千円、社債の償還10,000千円、リース債務の返済8,331千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、本日（平成28年3月29日）公表の「第2四半期（累計）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,656,926	2,462,540
売掛金	805,450	706,539
商品	3,622,642	4,258,579
貯蔵品	108,697	108,918
その他	197,305	166,884
流動資産合計	7,391,022	7,703,462
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	655,899	712,598
構築物(純額)	28	25
工具、器具及び備品(純額)	319,857	347,012
リース資産(純額)	20,992	16,621
建設仮勘定	486	-
有形固定資産合計	997,262	1,076,257
無形固定資産		
ソフトウェア	18,021	27,534
リース資産	8,342	4,401
その他	126	126
無形固定資産合計	26,489	32,061
投資その他の資産		
関係会社株式	88,159	88,159
敷金及び保証金	525,447	543,890
その他	259,749	259,842
貸倒引当金	△1,436	△1,136
投資損失引当金	△18,690	△32,144
投資その他の資産合計	853,229	858,611
固定資産合計	1,876,981	1,966,930
資産合計	9,268,004	9,670,393

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,786	885,373
電子記録債務	344,022	425,923
1年内返済予定の長期借入金	1,660,962	1,769,720
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	11,991	100,265
賞与引当金	54,920	52,400
ポイント引当金	5,357	16,608
その他	391,314	456,501
流動負債合計	3,210,353	3,726,791
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	3,301,741	3,100,329
資産除去債務	96,232	99,552
その他	448,886	496,108
固定負債合計	3,856,860	3,695,990
負債合計	7,067,214	7,422,781
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,526,621	1,574,253
株主資本合計	2,164,766	2,212,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△205	△6,371
評価・換算差額等合計	△205	△6,371
新株予約権	36,228	41,585
純資産合計	2,200,790	2,247,611
負債純資産合計	9,268,004	9,670,393



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	9,031,010	9,170,070
売上原価	6,806,079	6,932,343
売上総利益	2,224,930	2,237,727
販売費及び一般管理費	1,973,773	2,001,379
営業利益	251,157	236,347
営業外収益		
受取利息	849	897
受取配当金	197	217
業務受託料	691	659
受取保険金	34	219
その他	1,226	1,562
営業外収益合計	2,999	3,556
営業外費用		
支払利息	21,006	19,930
その他	1,509	723
営業外費用合計	22,515	20,653
経常利益	231,641	219,251
特別損失		
固定資産廃棄損	10,288	10,608
減損損失	-	15,095
店舗閉鎖損失	-	4,716
投資損失引当金繰入額	-	13,453
特別損失合計	10,288	43,873
税引前四半期純利益	221,353	175,377
法人税、住民税及び事業税	96,652	87,398
法人税等調整額	11,301	2,361
法人税等合計	107,953	89,759
四半期純利益	113,399	85,617

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	221,353	175,377
減価償却費	126,425	135,904
減損損失	-	15,095
店舗閉鎖損失	-	4,716
株式報酬費用	6,221	5,356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	△300
投資損失引当金の増減額(△は減少)	-	13,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,153	△2,520
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	11,251
受取利息及び受取配当金	△1,047	△1,115
支払利息	21,006	19,930
受取保険金	△34	△219
固定資産廃棄損	10,288	10,608
売上債権の増減額(△は増加)	139,853	104,737
たな卸資産の増減額(△は増加)	△599,479	△636,158
仕入債務の増減額(△は減少)	647,639	245,487
未払金の増減額(△は減少)	21,945	42,311
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,304	△15,331
その他	7,610	△9,878
小計	560,024	118,707
利息及び配当金の受取額	1,254	1,101
利息の支払額	△21,337	△19,845
保険金の受取額	34	219
法人税等の還付額	-	20,021
法人税等の支払額	△72,698	△9,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,277	110,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,006
有形固定資産の取得による支出	△29,818	△36,628
無形固定資産の取得による支出	△188	△12,330
投資有価証券の取得による支出	△1,968	△1,982
敷金及び保証金の差入による支出	△20,335	△22,266
敷金及び保証金の回収による収入	5,962	11,950
その他	△1,764	△2,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,112	△69,311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,200,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△827,646	△892,654
社債の償還による支出	△60,000	△10,000
長期未払金の返済による支出	△51,062	△87,110
リース債務の返済による支出	△8,154	△8,331
配当金の支払額	△37,880	△37,933
その他	2	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	215,259	△236,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	628,423	△194,390
現金及び現金同等物の期首残高	2,307,941	2,453,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,936,365	2,259,549

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。